

27 セイタカシギ

(チドリ目)

Himantopus himantopus

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:注 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク: VU

種の概要

アフリカ中南部、ヨーロッパ南部から中国北部から東南アジアなどの温帯から熱帯域で繁殖する。繁殖後も一部は繁殖地周辺に生息するが、多くはアフリカ、アジア南部、中国南東部などに渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来するが、本州の一部では繁殖するところがある。湖沼畔、河口、湿地、水田、干潟、埋立地などに生息し、泥中の水生昆虫類や魚類、甲殻類などを採食する。

国内分布

北海道、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、五島列島、男女群島、甕島列島、種子島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



写真提供：出口敦司

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★明石市、★西宮市、洲本市、★伊丹市、★豊岡市、★加古川市、★高砂市、丹波篠山市、養父市、★丹波市、南あわじ市、淡路市、★加東市、★稲美町、播磨町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
		○			○	○	○	○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-11月に記録がある。古い記録はない。近年に渡来するようになったもので、個体数は極めて少ない。2020年から繁殖が確認されているが、極めて局地的で、厳重な保護対策が必要。

保護上の留意点

生物多様性保全を目的とした定期的な池干しなどによるため池の維持管理が重要。水田や草を刈り、水を入れる休耕田も、貴重な採餌場となっている。既知の生息地では周辺住民への啓蒙を含め、地域全体で保護する機運を醸成することが必要。